

2010年PII日本語2.5年前半JPN107 シラバス

1. 講師(Instructors)

半沢千絵美 (はんざわ ちえみ)

Email: chiemi-hanzawa@uiowa.edu

桜井正美 (さくらい まさみ)

Office Hour : Sign-up シートを毎日貼ります。

2. 授業時間と教師

1 時間目	9:00~10:00	(半沢)
2 時間目	10:10~11:00	(半沢)
3 時間目	11:10~12:00	(桜井)

3. 教科書と教材

- 『上級へのとびら』(2009)岡まゆみ、筒井通雄ほか
- 『上級へのとびら』website (教科書のp.xiv/p.xx)
<http://tobira.9640.jp/tobiralogin>

4. 推薦辞書 (Recommended dictionary)

- 「日本語基礎文法辞典」Makino, S. & Tsutsui, M. (1986). A Dictionary of Basic Japanese Grammar. Tokyo: The Japan Times.
- 「日本語文法辞典(中級編)」Makino, S. & Tsutsui, M. (1986). A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar. Toyo: The Japan times.
- 「キャノン電子辞書」WORDTANK SUPER

5. コースの目標 (Objectives)

1) 話す

- 今まで勉強した文法や言葉をもっと効果的(effective)に使えるようになる。
- 接続詞(conjunctions)を使って、まとまりのある(cohesive)内容(content)を話せるようになる。
- 自分の意見(opinion)や考え(thoughts)が言えるようになる。
- あいづちやフィラー(fillers)を使い、自然(natural)な会話ができるようになる。
- 少し複雑な状況(complicated situation)でも、日本語でコミュニケーションを取って、問題を解決(solve)できるようになる。

- 状況(situation)に合わせて敬語やフォーマル、インフォーマルが使えるようになる。
- 2.5 年生終わりまでに ACTFL Guideline で中級の中になることを目標にする。

2) 聞く

- 教師やクラスメートの言うことがほとんど(mostly)分かるようになる。
- 2.5 年生終わりまでに ACTFL Guideline で中級の上になることを目標にする。

3) 読む

- 短いエッセイ、記事(article)、物語(story)の内容が読み取れるようになる。
- 読み物の中から必要な(necessary)情報(information)だけをできるだけ速く探せるようになる(スキヤニング: scanning)。
- 文章全体を速く読んで、要点(point)をつかむことができる(スキミング: skimming)。
- 2.5 年生終わりまでに ACTFL Guideline で中級の上になることを目標にする。

4) 書く

- 短いエッセイ、レポートが書けるようになる。
- 習った文法や言葉、接続詞を使って正確に(accurately)に文章(sentences)が書けるようになる。
- 習った漢字を正確に使えるようになる。書ける漢字の数を増やす(increase)。
- 2.5 年生終わりまでに ACTFL Guideline で中級の上になることを目標にする。

* ACTFL Proficiency Guidelines

<http://www.sil.org/lingualinks/languagelearning/OtherResources/ACTFLProficiencyGuidelines/contents.htm>

6. 評価

出席とクラス参加(participation)	10%
*日直もふくめる	
宿題	15%
漢字・単語小テスト	15%
レッスンテスト	20%
期末試験	25%
プロジェクト	15%
(ミニプロジェクト10%+スピーチ5%)	
	100%

7. 出席とクラス参加

- 1) 授業には、毎回時間までに来なければいけない。クラスに5分以上 (more than) 遅れた時は、遅刻(tardy)になり、遅刻が三回で一回の休みになる。
- 2) 日直をきちんと(properly)して、クラスに積極的に(actively)参加しなければ、出席していてもクラス参加点はもらえない。
- 3) 病気で休む時は、電話かEメールで連絡し、後で医者からの書類(document)を出した時は、休みにならない。

8. Language Pledge

リファールの中では、日本語だけ(only)で話すこと。最後に一番プレッジを守った人を投票し(to vote)、2年生1名、2.5年生1名、3年生1名を選ぶ。

9. 日本語テーブル (昼ごはんの時：12時15分から12時45分)

研修室8番の部屋で、昼ごはんを食べながら日本語で話しましょう。
日本語テーブルがあるかどうかは、朝、お知らせします。

10. 日直

毎日一人、授業の前に日直をする。

1. 今日の日付(date)と天気予報(天気と気温) (1分)
2. 今日のパネルの予定
3. スピーチ (2分～3分)

スピーチの例：好きなこと、特技、日本で見つけたおもしろい物／こと
週末のこと、出身地(hometown)等(etc.)

日直は必ず授業が始まる10分前に来て、ホワイトボードに日付と天気を書いておくこと。スピーチで使う難しい言葉も書いておくこと。

みなさん、おはようございます。

今日は○月○日○曜日です。

朝日新聞／○○テレビ／Yahoo!の天気予報によると、今日の天気は晴れのちくもりで、

最高気温は26度、最低気温は19度だそうです。

今日は午後1時半から牧野先生の講演が大研修室であります。忘れないで来てください。
では、スピーチを始めたいと思います。

1 1. 宿題

宿題は提出日(due date)の一時間目の授業の始めに出すこと。

- 10点 よく考えて完成(complete)した宿題を、提出日の授業の始めに出した時。
- 8点 完成していない宿題や、よく考えないでやった宿題を提出日の授業の始めに出した時。または、よく考えて完成した宿題を、提出日の授業の始め以降(after)に出した時。
- 5点 完成していない宿題や、よく考えないでやった宿題を提出日の授業の始め以降に出した時。
- 0点 提出日に出せなかった宿題(点数がなくても宿題は出しましょう)。

1 2. 小テストとレッスンテスト

- 漢字と単語の小テストは、漢字・単語リストを見て準備(preparation)する。
- テストは3時間目の授業の始めにする。
- 理由(reason)がなく、欠席(absence)や遅刻(tardy)をして、テストが受けられなかった時、再試(make-up test)は受けられない。

1 3. 期末試験

6月24日(木)：話す試験と書く試験がある。詳しい内容(detailed content)は、後で説明(explanation)する。

1 4. ミニプロジェクト

『とびら』1～3課のトピックから一つ選び、そのトピックについて、リサーチやインタビューをして分かったことをクラスで発表する。

1 5. スピーチ発表

自分の好きなトピックについて、スピーチの原稿を書いて、発表する。

前半—トピックを決めて、アウトラインを書く。

後半—原稿を書いて、発表する。

詳しい内容は、後で説明する。